

JBR

JAPAN BEST RESCUE SYSTEM

決算説明資料

FY2022/Q2

東証プライム・名証プレミア

証券コード：2453

2022年5月6日

ジャパンベストレスキューシステム株式会社

目次

内容	ページ
決算概況	2 - 5
主要指標	6 - 9
トピックス	10 - 12
よくあるご質問	13
データ集	14 - 15

概要

売上高・営業利益は業績予想の通りに進捗

経常・純利益は市況影響による悪化であり、下期以降の挽回を見込む

<単位:百万円>	FY20上期	21上期	22上期	前期比	業績予想 達成率	
売上高	5,996	6,637	8,806	+2,169 +32.7%	過去最高 ACTG*買収の効果に加え、既存事業も安定的に成長	100.0%
営業利益 (売上比)	650 (10.9%)	672 (10.1%)	738 (8.4%)	+65 +9.8%	歴代2位 駆けつけ事業 減益の一方で、ACTGがプラス貢献 のれん償却を上回る成長を実現	100.7%
経常利益 (売上比)	665 (11.1%)	815 (12.3%)	695 (7.9%)	-119	営業外損益は一時的に悪化 市況悪化に伴う自社株価予約取引の評価損	83.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	260	541	518	-22	同上 法人税負担は軽減	94.2%
EBITDA (売上比)	744 (12.4%)	784 (11.8%)	1,024 (11.6%)	+239 +30.6%	過去最高 収益力が継続的に向上	-

*アクトコール社・TSUNAGU社

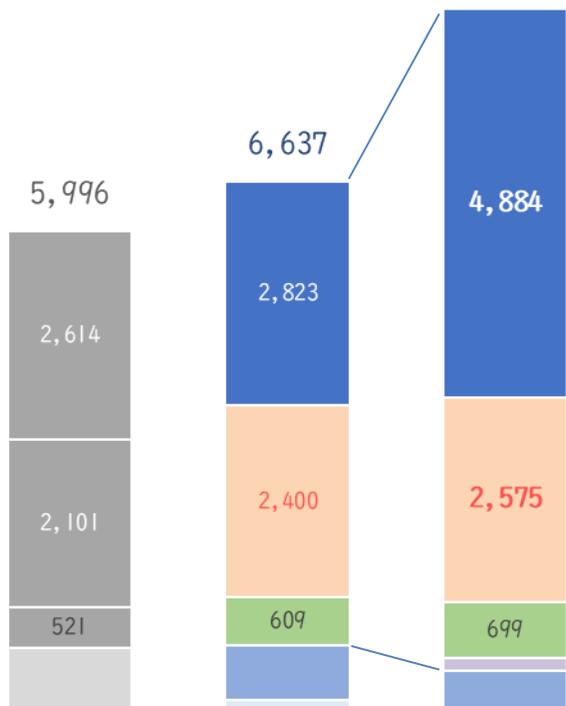
売上高

<単位:百万円>

FY20上期
(概算)

21上期

22上期
8,806



主力事業
前年比
事業比率

5,237
-1.9%
87.4%

5,833
+11.4%
87.9%

8,321
+42.6%
94.5%

会員・保険・保証が全体の90%を超える
ストック型の安定的な事業ポートフォリオを構築

前期比 +2,169
+32.7%

会員	+2,060 +73.0%	セグメント変更後も全社の成長を牽引
		+ 193 会員の獲得による純増
		+1,761 ACTG 前期末に競合を完全子会社化
		+ 105 新収益認識基準 通期でプラス影響が継続する
保険	+174 +7.3%	被保険者の獲得による純増
保証	+90 +14.9%	会員の獲得による純増
その他	+162	感染拡大防止事業
駆けつけ	-203	出勤件数の減少による減収
ライフテック	-120	事業撤退に伴い、前期末にセグメント廃止
調整額	+5	

営業利益

<単位:百万円>



主力事業	883	952	938
前年比	+3.4%	+7.8%	-1.5%
事業比率	135.9%	141.7%	127.2%

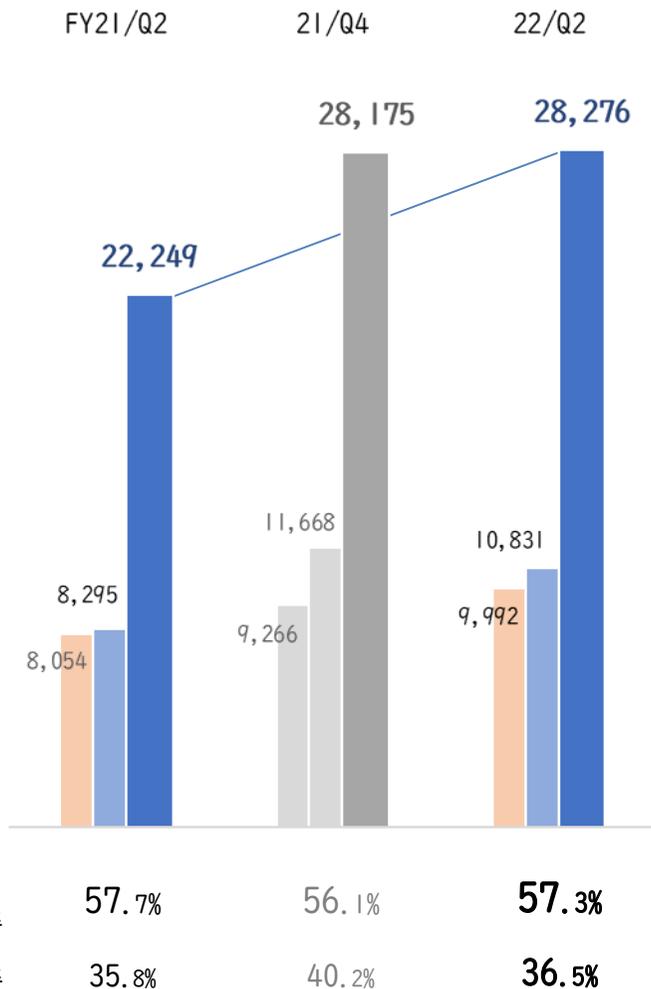
主力事業は成長の一方で償却負担などが増加
ライフテック(新電力)撤退により全社収益が改善

項目	前期比	変化
合計	+65	+9.8%
会員	-35	-7.0%
保険	-15	-7.5%
保証	+20	+8.2%
その他	+16	
駆けつけ	-54	
ライフテック	+159	
調整額	-25	

会員	+ 32 会員の獲得による純増
	+ 97 ACTG のれん償却:92百万円を大きく上回る利益を実現
	-165 駆けつけ・ライフテックの減収による負担増等
保険	+ 38 被保険者の獲得による純増 獲得ペース増加に伴い、契約準備金の繰入が増加
	- 53 保険業法に基づく会計処理の影響 <FY21>+7百万円 → <FY22>-46百万円
保証	会員の獲得による純増
駆けつけ	出勤件数の減少による減益
ライフテック	赤字事業の撤退により収益改善

財政状態

<単位:百万円>



ストック型収益が継続的に増加
自己株式の新規取得(最大5億円)を開始

前期比

前受収益	+1,937 +24.1%	+ 904 主力事業の持続的な成長
		+ 550 ACTG
		+ 483 新収益認識基準 一括計上済の収益の内、契約期間残存分
純資産	+2,535 +30.6%	+2,441 自己株式処分差益
		+1,107 ACTG
		- 405 新収益認識基準
		- 259 自己株式の新規取得
総資産	+6,026 +27.1%	+3,203 ACTG
		+2,441 自己株式処分差益
		+ 904 主力事業の持続的な成長
		- 259 自己株式の新規取得
		± 0 新収益認識基準 …総資産への影響はなし

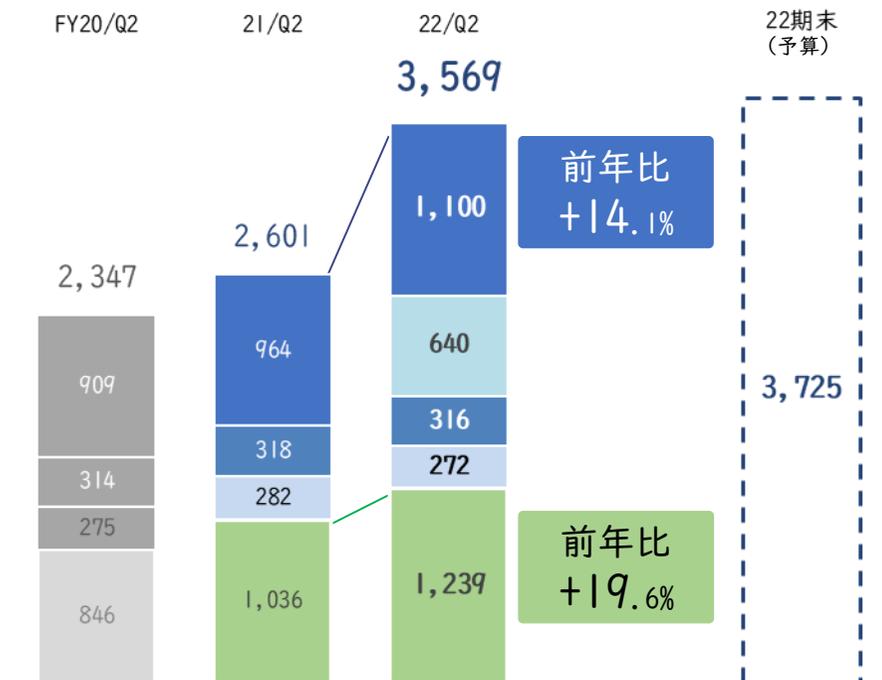
会員・保証

ACTG買収の効果も合わせて、会員数は前年比:+37%

JAFとの大型提携もあり、中長期的な成長スピードは加速傾向が続く見込み

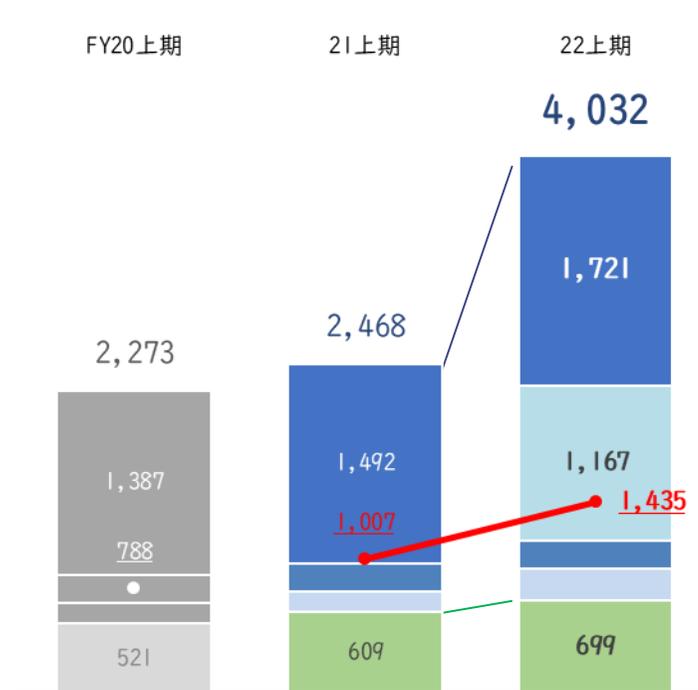
会員数 (千人)

既存事業も会員獲得ペース加速
従来の巡航速度 年間10%成長を明確に上回る



会費収入・出勤費 (百万円)

出勤費用の増加を適切にコントロール
会費収入:+63%に対して出勤費:+4%に留まる



<凡例>



出勤費

3年後の目標水準(営業利益率:9.0%)を早々に達成 買収前に設定した今期目標(営業利益率:6.9%)と比べても大幅な収益改善を実現

営業利益・利益率 (百万円)

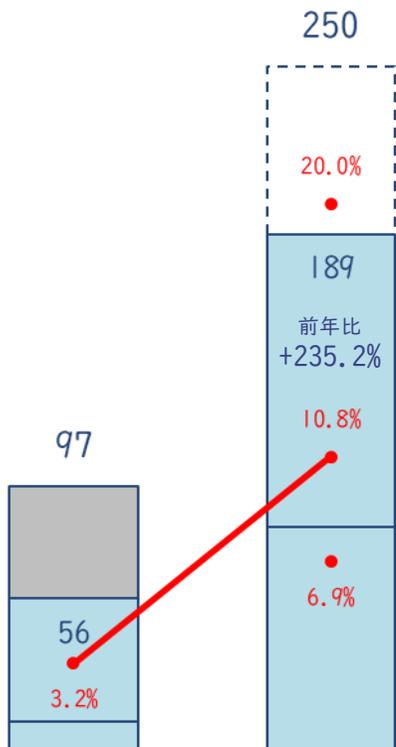
収益改善の取り組み

買収前

買収後

FY21

FY22



<営業利益>
計画進捗率:75.9%

【下期】体制強化等に伴いコスト増
【通期】計画を上回る見込み

<営業利益率>

→JBRの水準

買収時点では「将来的な目標」
中計3か年での達成は想定せず

→上期現在の実績

各種PMIは想定以上に順調

→買収前の通期目標

PMI策定前に設定したため
中計の中でも特に保守的に設定

【参考】2年目:8% 3年目:9%

効果

JBRグループ

吸収合併

大

10/1の効力発生日に向けて、組織最適化など進捗中

グループ全体の収益性改善

大

営業・管理・コールセンター業務の効率化
システム統合等の検討を進める

コールセンター

業務効率化

大

販売パートナー

不採算案件の是正交渉

大

施工パートナー

作業原価の是正交渉

中

管理部門

外部委託業務の取り込み

小

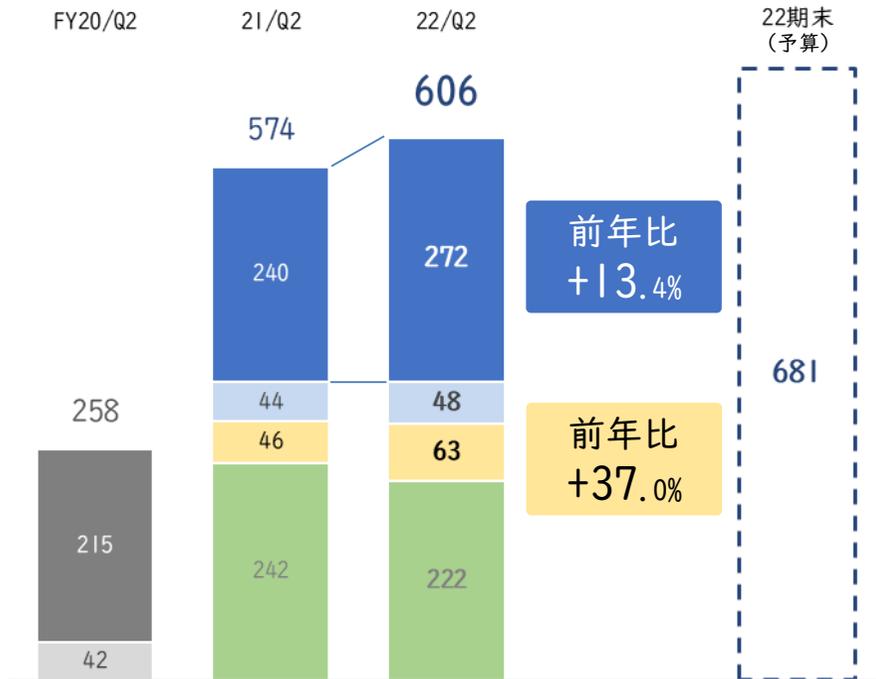
保険

既存商品の販売パートナーが続々と決定

伊藤忠商事と共同開発の新商品も複数準備中

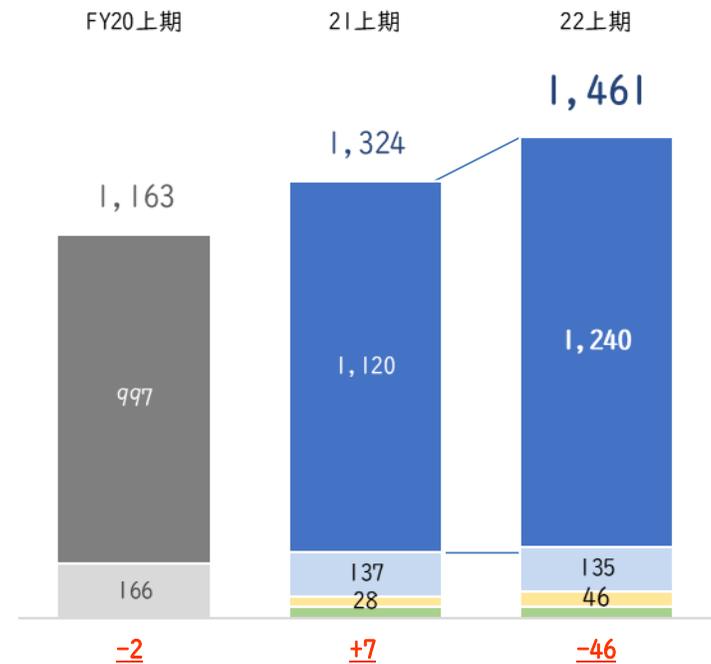
被保険者数 (千人)

被保険者を順調に獲得
スマホ・スポーツクラブの提携先も拡大中



保険料収入・準備金影響 (百万円)

契約獲得ペース増に伴い、準備金の繰入増
支払実績等に応じて各四半期でプラス/マイナス影響が増減



<凡例>

家財保険

その他

スマホ

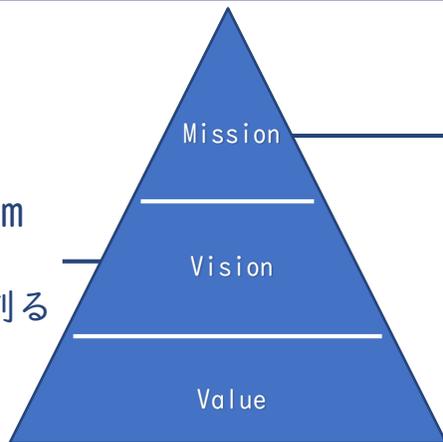
スポーツクラブ

準備金影響額

サステナビリティ

400万件超の安心を提供し、地方創生に貢献するシステム
 さらなる持続可能性の向上施策を具体化するべく、サステナビリティ委員会を設置

We create the Best Rescue System
 いつも暮らしに寄り添い、
 安心できるベストな仕組みやサービスを創る



困っている人を助ける



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



セグメント変更

プライム上場・組織再編に伴い、開示セグメントを変更

成長性・収益性の異なるサービスを内包していた会員セグメントを中心に整理

事業ポートフォリオ

<育成事業>

<成長事業>

主力事業

新規事業・新規提携

延長保証

保険

リペア

【会員】
生活トラブル

駆けつけ

<課題事業>

<成熟事業>

成長性

収益性

新旧セグメント対比

<全社売上比>

各サービスの業績を明確化

旧セグ・サービス	事業概要	新セグ
会員 <64.0%>	延長保証 生活トラブル以上の成長性と収益性 子会社であるJWSが事業運営	保証 <7.9%>
	新規事業 感染拡大 防止事業等 従来は便宜上、会員事業として計上 会員事業のモデルに囚われることなく 既存インフラを活用した新サービスを開発する	その他 <1.8%>
	生活 トラブル <54.3%>	ACTG買収で圧倒的トップシェア獲得 10/1より両社を吸収合併 全社で更なる収益性の向上を進める
リペア <1.1%>	高い技術力を持ちながら集客に苦戦 会員事業のコンテンツの一部として 付加価値・成長性を向上させる	

※保険・駆けつけは従来通り、数値はFY22/Q2末時点

サービスインした大型提携

自動車トラブルのJAF × 生活トラブルのJBR

早期に10万件/年の獲得ペースに乗せて、新たな成長ドライバーとする

JAFとは...

会員数 2,000万人以上
継続率 90%以上※

50年以上の実績と品質を誇る
ロードサービスと会員特典を提供

※2021年11月現在



JBR成長ドライバー (数値は前年比、FY22/Q2末時点)

生活トラブル
(安心入居サポートのみ)

会員数
+13.6万
(+14.1%)

ACTG買収効果
生活トラブル

会員数
+64.0万

延長保証

会員数
+20.2万
(+19.6%)

<保険事業>
家財保険

被保険者数
+3.2万
(+13.4%)



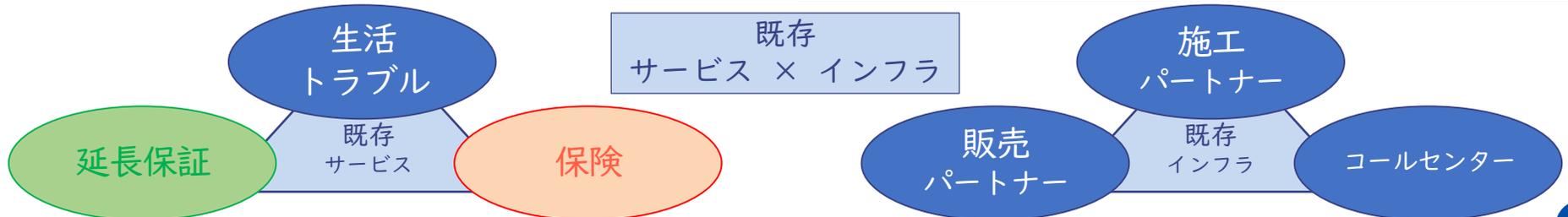
←サービスサイト

<https://yutai.jafnavi.jp/homelifesupport/>

新規案件

伊藤忠グループとの連携も具体化フェーズへ その他にも著名な企業・団体との商談が日々増加中

新規提携 既存サービス(会員・保険)拡販				サービス別 展開方針	
済	JAF	生活トラブル	2,000万人	生活 トラブル	持ち家市場に向けた展開を加速 リペア付帯型サービスも強化
	エニタイム フィットネス	スポーツクラブ 傷害保険	60万人		
	GMOインターネット	スマホ保険	-	延長保証	住宅・設備メーカーへの営業注力 商流の川上を抑えた効率的な拡販を追求
近日	食品宅配	生活トラブル	-	保険	提携関係を活かした新商品開発 伊藤忠・ミニミニ等の大口販路も開拓
	ガス	生活トラブル	-		
交渉中	警備	生活トラブル	※	ラスト ワンマイル	既存インフラを活用した新サービス開発 食品宅配バックアップ、飲食店見回り、 高齢者見守り、自転車アフターサービス等
	地方銀行 教育ローン	生活トラブル	-		
	クレジットカード	生活トラブル	150万人		
	医療	ワンマイル 退院サポート	120万人/年		



よくあるご質問

1. 上期を振り返ってどうですか？

売上高・営業利益は業績予想の通り推移しております。
今後の事業成長を加速させる、定性面での成長が目立ちました。

2. 新収益認識基準とは？

国際会計基準(IFRS)の一部が、今期より強制適用されました。
業績予想には織込済であり、長期的な影響はございません。

3. M&A後のPMIの状況は？

当初の想定を上回り、上期時点でOPM:10%を達成しました。
改善をさらに進めるべく、10月よりACTGを吸収合併します。

4. ライフテック^(新電力)撤退の影響は？

世界的な電力需給リスクの早期回避に繋がりました。
通期では1.5億円程度の利益貢献を見込んでおります。

5. 伊藤忠との今後の取り組みは？

伊藤忠グループ各社と、20件余りの協議が進んでおります。
詳細は非開示ですが、既に契約締結済の案件もございます。

6. 下期以降の見通しは？

現時点では業績予想の通り進捗する見通しです。
新規案件やPMIの進捗により、中長期的な上積みを図ります。

7. ウクライナ情勢による事業影響は？

現時点で当社事業に対する影響は確認されておりません。
また当社では避難民に対する支援を3/7に表明しております。

8. 会社説明の資料は？

内容を充実させるため、別途ご用意しております。
最新版の公開まで、しばらくお待ちください。

https://www.jbr.co.jp/ir_info/irlibrary_account/



9. 決算説明会の予定は？

上期決算の説明会は、5月中旬に開催予定です。
またYouTubeにIRチャンネルを開設しました。

<https://tinyurl.com/4y4ju8er>



10. 不明点の問い合わせは？

最終ページに記載の連絡先までお寄せください。

データ集① 会員・保証

不採算案件の整理等を経て、高成長フェーズに突入

	FY18				FY19				FY20				FY21				FY22	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2												
会員数 (千人)	2,233	2,305	2,247	2,247	2,259	2,310	2,168	2,222	2,245	2,347	2,338	2,399	2,492	2,601	2,657	3,347	3,411	3,569
生活トラブル	1,755	1,786	1,699	1,664	1,636	1,646	1,464	1,464	1,441	1,500	1,454	1,465	1,506	1,565	1,575	2,214	2,226	2,330
集合住宅	811	840	822	830	840	865	854	870	864	909	897	913	930	964	1,009	1,020	1,038	1,100
ACTG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	630	624	640
大学生	252	286	271	273	273	300	285	286	286	314	289	290	290	318	288	288	288	316
dリビング	251	241	214	189	166	145	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	439	417	391	371	356	335	323	308	290	275	267	261	285	282	277	275	275	272
延長保証	477	519	547	583	622	663	704	758	804	846	883	934	986	1,036	1,082	1,132	1,185	1,239
会費収入 (百万円)	988	1,130	1,156	1,081	1,109	1,214	1,215	1,108	1,088	1,184	1,169	1,146	1,188	1,280	1,324	1,296	1,997	2,034
生活トラブル	819	948	965	884	893	987	985	857	832	919	904	874	887	972	1,008	969	1,652	1,680
集合住宅	506	631	660	601	626	729	729	669	652	735	727	696	706	786	828	790	847	874
ACTG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	581	586
大学生	91	96	96	97	97	101	100	101	100	104	100	102	103	108	102	102	103	105
dリビング	112	111	101	89	78	68	66	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	109	109	105	96	90	87	88	85	80	79	76	76	77	78	77	76	120	113
延長保証	168	182	191	197	215	226	230	250	255	265	265	271	300	308	315	326	345	354
出動費	538	498	532	554	573	520	536	397	392	396	376	443	488	519	489	524	701	734

データ集② 保険

国内トップレベルの商品開発力で、新商品を続々と投入

	FY18				FY19				FY20				FY21				FY22	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
商品数*1 (件)	9	9	9	9	9	9	9	11	12	14	14	14	17	17	17	17	17	18
少額短期保険	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	10	10	11	11	11	11	11	12
損害保険	-	-	-	-	-	-	-	2	3	4	4	4	6	6	6	6	6	6
被保険者数 (千人)	272	269	274	274	272	272	259	259	262	258	529	550	556	574	585	593	593	606
家財保険	175	180	184	187	182	194	197	201	207	215	221	226	231	240	246	251	257	272
スポーツクラブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	264	264	246	242	241	240	228	222
スマホ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	34	46	52	55	60	63
その他	97	89	89	87	89	78	61	58	55	42	43	43	44	44	45	46	47	48
保険料収入 (百万円)	450	581	534		484	629	570	493	509	654	597	561	590	734	701	616	638	822
家財保険	345	484	419	366	389	533	471	404	422	574	504	465	490	630	579	502	527	713
スポーツクラブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	17	18	18	19	20	18	18
スマホ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	11	17	20	21	23	23
その他	104	97	115	96	94	96	99	89	86	80	81	73	70	67	81	72	69	66
保険契約準備金*2	-3	+35	-3	+1	+0	-8	-13	-127	+15	-18	+28	-38	+15	-7	-39	-52	-7	-38

*1 各期末における普通保険約款の数

*2 保険業法に基づく会計処理により、各四半期の営業利益は増減しやすい

JBR

JAPAN BEST RESCUE SYSTEM

注意事項

本資料で記述している業績予想や将来の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確定な要素が含まれています。そのため、実際の成果や業績等は記載の予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

本資料・IR問い合わせ先：経営企画部 竹内・新矢
TEL：052-212-9908 E-mail：ir@jbr.co.jp

UD
FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、
より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。